

Pictet Fund Watch

米ギリアド・サイエンシズがカイト・ファーマ買収を発表

2017年8月28日、米大手バイオ医薬品企業ギリアド・サイエンシズが、がん分野に強みをもつ米バイオ医薬品企業カイト・ファーマを119億ドルで買収することを発表しました。バイオ医薬品企業については、画期的な新薬の開発動向とM&Aの動きが注目されます。

米ギリアド・サイエンシズが119億ドルで カイト・ファーマを買収

2017年8月28日、米大手バイオ医薬品企業ギリアド・サイエンシズが、がん分野に強みをもつ米国のバイオ医薬品企業であるカイト・ファーマの買収を発表しました。ギリアド・サイエンシズはカイト・ファーマ1株あたり180ドル(前営業日(8月25日)の終値139.10ドルを約29%上回る)を現金で支払い、買収総額は119億ドル(約1兆3,000億円)となります(図表1参照)。この発表を受けカイト・ファーマの株価は買収金額に近い水準まで上昇し、またカイト・ファーマが強みを持ちがん治療で有望とされているキメラ抗原受容体T細胞(CAR-T)療法で有望と言われているジュノ・セラピューティクス(米国)やブルーバード・バイオ(米国)といった銘柄についても、株価が上昇しました。

カイト・ファーマの買収で ギリアドはがん領域を強化

今回のカイト・ファーマ買収により、ギリアド・サイエンシズはがん領域を強化することになります。ギリアド・サイエンシズは、2014年以降、画期的なC型肝炎治療薬ソバルディ、ハーボニーの販売が好調で、売上高、利益とも大きく成長していましたが、これらの販売がピークを過ぎ、次の成長分野確保のために新薬候補(パイプライン)の拡充が急務となっていました。

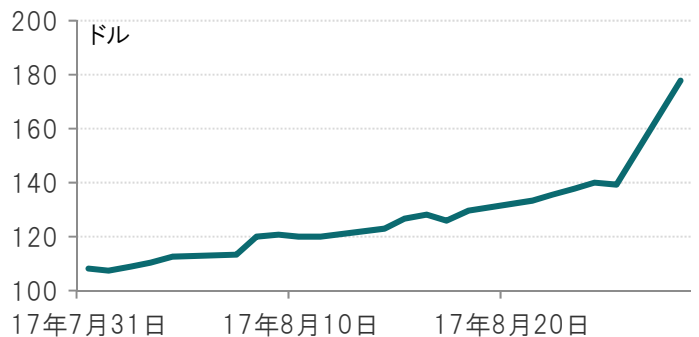
注目の高いがん領域、 画期的な治療CAR-T療法

ピクテでは新薬開発が注目される分野のひとつとしてがん領域に注目しています。今回、買収されたカイト・ファーマは、現在、がん治療で有望と注目を集めているCAR-T療法で先行しており、はじめの製品は年内中に治療抵抗性のアグレッシブ非ホジキンリンパ腫の治療として発売される予定です。

記載された銘柄はあくまで参考として紹介したものであり、その銘柄・企業の売買を推奨するものではありません。また、データは過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

図表1:カイト・ファーマの株価推移

米ドルベース、日次、期間:2017年7月31日~2017年8月28日



出所:ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

CAR-T療法では、まず、患者さんから取り出したT細胞(白血球のなかのリンパ球の一種で、免疫機能の司令塔として重要な役割を果たしている)にがん細胞が隠れているタンパク質などを狙い撃ちできるキメラ抗原受容体(CAR)を発現させる遺伝子改変を加えます。そして、遺伝子改変を加えたCAR-T細胞を患者さんの体内に戻し、がんの治療を行うという療法です。ただし、まだまだ発展途上の治療であり、今後の動向が注目されます。

バイオ医薬品企業については、がん領域以外にも中枢神経領域や希少病領域などを中心に画期的な新薬の開発が進められています。またギリアド・サイエンシズ同様に、大手医薬品企業や大手バイオ医薬品企業は将来の成長のためにパイプラインの拡充を図っており、バイオ医薬品企業をターゲットとしたM&Aの動きは継続するものと考えられます。

新薬開発の進展とM&Aの動きについては、バイオ医薬品株式の株価にとってプラス要因となることから、引き続きこれらの動向が注目されます。

※将来の市場環境の変動等により、当資料記載の内容が変更される場合があります。

投資リスク

[基準価額の変動要因]

ファンドは、実質的に株式等に投資しますので、ファンドの基準価額は、実質的に組入れている株式の価格変動等(外国証券には為替変動リスクもあります。)により変動し、下落する場合があります。

したがって、投資者の皆様が投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様には帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

株式投資リスク (価格変動リスク、 信用リスク)	<p>特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行いますので、平均的な株式市場の動きと比べて異なる動きをする場合やその価格変動が大きい場合があります。また、未上場・未登録の株式の組入れを行うこともあります。これらの株式は流動性が上場株式に比べて著しく劣る場合があります、価格変動が極めて大きい場合があります。</p> <p>組入れた株式の発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。</p>
為替変動リスク	<p>ファンドは、実質的に外貨建資産に投資するため、対円との為替変動リスクがあります。</p> <p>円高局面は基準価額の下落要因、円安局面は基準価額の上昇要因となります。</p>

基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

[その他の留意点]

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

ファンドの特色

<詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください>

主に世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資します

毎月決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います

毎月 13 日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 収益分配金額は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託会社が決定します。また、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。
- 留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

ファミリーファンド方式で運用を行います。

実質組入外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行いません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

[収益分配金に関する留意事項]

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

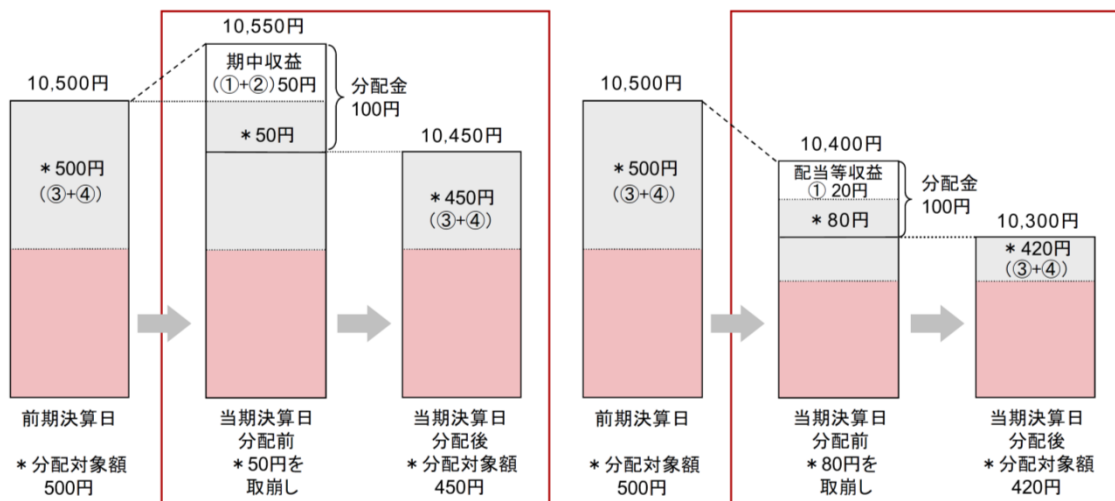


分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合

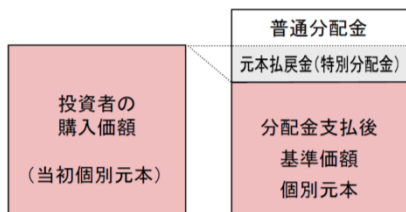
前期決算日から基準価額が下落した場合



(注)分配対象額は、経費控除後の配当等収益および経費控除後の評価益を含む売買益ならびに分配準備積立金および収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

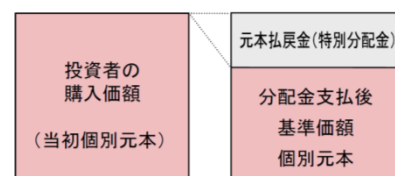
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、「手続・手数料等」の「税金」をご参照ください。

手続・手数料等

[お申込みメモ]

購入単位	販売会社が定める1円または1口(当初元本1口=1円)の整数倍の単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。(ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。)
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
購入・換金の申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日においては、購入・換金のお申込みはできません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
信託期間	平成16年10月29日(当初設定日)から無期限とします。
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には信託が終了(繰上償還)となる場合があります。
決算日	毎月13日(休業日の場合は翌営業日)とします。
収益分配	年12回の決算時に、収益分配方針に基づき分配を行います。 ファンドには収益分配金を受取る「一般コース」と収益分配金が税引後無手数料で再投資される「自動けいぞく投資コース」があります。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。

[ファンドの費用]

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	3.24%(税抜3.0%)の手数料率を上限として、販売会社が独自に定める率を購入価額に乗じて得た額とします。 (詳しくは、販売会社にてご確認ください。)
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	毎日、信託財産の純資産総額に年 2.052% (税抜1.9%)の率を乗じて得た額とします。運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支払うものとします。配分は次のとおりとし、委託会社と各販売会社の配分は各販売会社の取扱い純資産総額に応じて計算するものとします。 [運用管理費用(信託報酬)の配分(税抜)]											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>各販売会社の取扱い純資産総額</th> <th>委託会社</th> <th>各販売会社</th> <th>受託会社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>300億円以下の部分</td> <td>年率1.0%</td> <td>年率0.8%</td> <td rowspan="2">年率0.1%</td> </tr> <tr> <td>300億円超の部分</td> <td>年率0.9%</td> <td>年率0.9%</td> </tr> </tbody> </table>	各販売会社の取扱い純資産総額	委託会社	各販売会社	受託会社	300億円以下の部分	年率1.0%	年率0.8%	年率0.1%	300億円超の部分	年率0.9%	年率0.9%
各販売会社の取扱い純資産総額	委託会社	各販売会社	受託会社									
300億円以下の部分	年率1.0%	年率0.8%	年率0.1%									
300億円超の部分	年率0.9%	年率0.9%										
その他の費用・手数料	毎日計上される監査費用ならびに組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料等および外国における資産の保管等に要する費用等(これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。)は、そのつど信託財産から支払われます。											

当該費用の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

[税金]

税金は表に記載の時期に適用されます。

以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税 および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して 20.315%
換金(解約)時 および償還時	所得税 および地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して 20.315%


少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」について

NISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

上記は、当資料発行日現在のもので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

法人の場合は上記とは異なります。

税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ファンドに関するお問い合わせ先	ピクテ投信投資顧問株式会社	【電話番号】 0120-56-1805 受付時間:営業日の午前9時~午後5時 【ホームページ】 http://www.pictet.co.jp 【携帯サイト(基準価額)】	
-----------------	---------------	---	---

委託会社、その他の関係法人の概要

委託会社	ピクテ投信投資顧問株式会社(ファンドの運用の指図を行う者) 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第380号 / 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社	株式会社りそな銀行(ファンドの財産の保管および管理を行う者) <再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社>
投資顧問会社	ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ(株式の運用指図を行う者)
販売会社	下記の販売会社一覧をご覧ください。(募集の取扱い、販売、一部解約の実行の請求受付ならびに収益分配金、償還金および一部解約代金の支払いを行う者)

販売会社一覧

投資信託説明書(交付目論見書)等のご請求・お申込先

商号等	加入協会			
	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第370号			
宇都宮証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第32号			
SMBC日興証券株式会社(ダイレクトコース専用)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号			
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号			
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号			
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号			
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第75号			
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1977号			
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第134号			
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第24号			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号			
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第8号			

当資料をご利用にあたっての注意事項等

当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡しますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります)に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆さまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。